



宮城県立名取支援学校

学校だより

令和2年4月8日

Vol. 1

小学部 79名 名取が丘校 13名

中学部 51名 高等部 87名

計 230名



「1年が始まるにあたって」

校長 遠藤 浩一



例年より早く桜が咲き、名取支援学校の桜も満開を迎えました。今年度は、新型コロナウイルス対応の関係で、例年以上に慌ただしく、そして緊張感をもって新年度を迎えています。登校日に久しぶりに見る変わらぬ児童生徒の笑顔は、私たち教職員を癒やし、やる気を高めてくれます。一か月以上の長いお休みとなり、児童生徒や保護者の皆様には大変な負担をお掛けしました。この期間、支えていただいております保護者の皆様、関係機関の皆様、そして元気に過ごしてくれた児童生徒に感謝いたします。ありがとうございました。

さて今年度の名取支援学校は、新入生に本校小学部11名、中学部15名、高等部20名、名取が丘校小学部3名の児童生徒を迎え、本校217名、名取が丘校13名、合計230名でのスタートとなりました。昨年度と比較すると、本校では14名の減となります。教職員は155名です。本校では9名減となりました。とは言え、相変わらずの大所帯です。

名取支援学校が、今年度特に力を入れていきたいことは、

- ① **新しい学習指導要領を踏まえた学習活動を行うこと**(小学部で新しい学習指導要領が完全実施となります。更に、取組を進めていきます。)
- ② **教員の力を伸ばすことに取り組みつつ、働き方を見直していくこと**(教職員の専門性、指導力の向上と、健康で効率的な働き方を工夫していきます。)
- ③ **保護者や地域の皆様との関係を強めること**(保護者・PTAや地域・関係機関との協力・連携を強化していきます。)
- ④ **安全・安心な学校づくりを進めること**(安全・安心な学校づくりのための、体制強化や教職員の力量向上に取り組みます。)

の四つです。これらの取組から、**児童生徒にとって「楽しい、わくわくできる、満足感のある、成長できる学校」**を目指します。教職員一同、児童生徒に負けない笑顔で、日々頑張っていきたいと思えます。保護者の皆様には、今年度もPTA活動はもちろん、児童生徒の学習活動や行事でお力添えいただきます。皆様と一緒に、安心できる、信頼できる学校づくりを進めていきたいと思えます。

さてここで、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、改めて保護者の皆様にお願ひです。学校では、教育活動を行いながら可能な対応を行い、万全な体制を整えるよう努めております。しかし、昨今の状況をみますと、児童生徒や教職員に感染症の罹患者や濃厚接触者がいつ確認されても不思議ではありません。もし、確認されたとしたら、学校での集団発生につながることも考えられます。この点をご理解いただき、ご家庭での風邪症状への対応や通学バス利用時の約束事ほか、学校からのお願いに御協力くださいますよう重ねてお願いいたします。

なお、万が一こうした状況になった場合、もちろん学校での具体的な対応について検証を行い、これ以上の悪化防止に取り組みます。一方、一番辛く、大変なのは治療を受けたり、自宅待機をさせられたりする本人です。そのようになりたくてなった方はいません。そのことに心を配る優しさを忘れない、そのような名取支援学校でありたいと思えます。

それでは、皆様、今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。